

◆ 令和5年7月に発生した豪雨被災に伴う第45回災害ボランティア活動として、7月26日（水）・27日（木）・28日（金）福岡県久留米市田主丸町を中心とした災害復旧活動を実施しました。

今回は、令和5年7月10日の記録的大雨による被災に伴い久留米市社会福祉協議会から支援依頼を受け、筑後信用金庫内にて参加者を募ったものです。当金庫信和会では、通算第45回目の災害ボランティア活動となり、有志19名（男17名、女2名）が参加しました。

なお、最終日の28日は遠賀信用金庫（本店は遠賀郡岡垣町）からの協力申出があり、有志7名（男6名、女1名）による共同作業となりました。

平日のボランティア活動は、参加者が極力少ないため、多くの参加が期待されるところです。今後住居の復旧が進み社会福祉協議会の災害ボランティアセンターが閉鎖されたのちは、任意団体による農業ボランティア（倉庫、田畑、果樹園、水路など土砂出し等）に引き継がれていきます。

活動内容は、（1）26日および28日は、久留米市田主丸町において気温37度前後の中、被災家屋床下及び周辺の泥だし、災害ゴミの搬出など

（2）27日は久留米市三潯町において気温37度超の中、被災家屋3軒の家具等の搬出及び清掃活動を行いました。

復旧作業に参加されましたボランティアの皆様猛暑の中大変お疲れ様でした。また、社会福祉協議会のスタッフ皆様お疲れ様でした、また準備等ありがとうございました。

以上

（ 集合写真 ）

（7月26日活動）

職員 5名

（ 男性 4名
女性 1名 ）



(7月27日活動)

職員 6名

(男性 6名)



(7月28日活動)

筑後信用金庫 8名

(男性 7名
女子 1名)

遠賀信用金庫 7名

(男子 6名
女子 1名)



(活動状況)



(1) 27日被災家屋において、家具等の搬出作業



(2) 27日被災家屋において、家具等の搬出作業



(3)28日 倉庫内の土砂出し



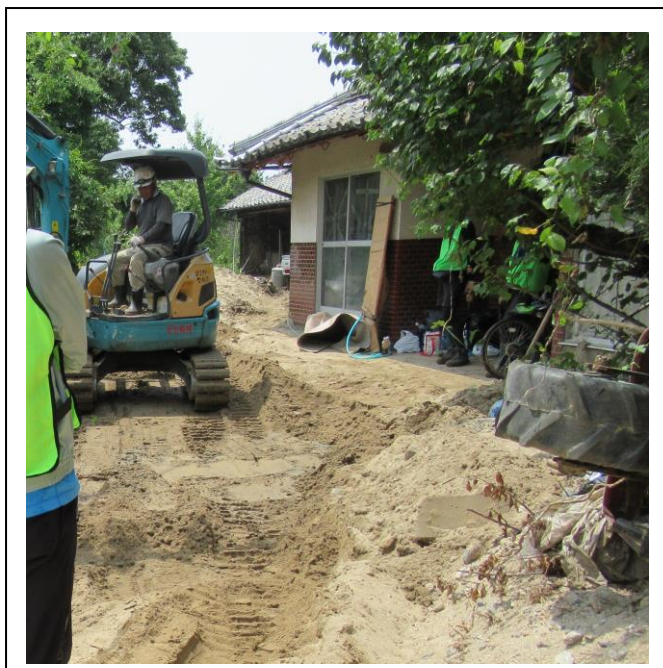
(4)28日 倉庫前の土砂出し



(5)28日 倉庫前の土砂



(6)28日 RKBテレビ「タダイマ!」の取材を受けた



(7)28日 重機による堆積した土の排除



(8)【ご協力いただきました遠賀信用金庫職員の皆様】

以上